

ゆに 議会だより

【第4回定例会】 町政を問う 一般質問

- 東 貴之 メンタルヘルスケア
- 中村隆浩 子ども医療費の18歳以下まで無償化拡大
- 野市裕司 空き家を活用した移住対策の推進

大谷翔平選手からのグローブに笑顔



大谷翔平選手グローブ贈呈式（由仁小学校）

令和5年 第4回定例会

令和5年第4回定例会は12月13日に招集され、会期を1日として開会しました。諸般の報告（会務報告、総務産業常任委員会報告）の後、行政報告、教育行政報告が行われ、一般質問は3名の議員が計3件の質問を行いました。

付議事件は、条例の制定1件、条例の一部改正4件、令和5年度各会計補正予算7件、組合規約の変更1件、会議案1件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

	付議事件	主な内容
条例の制定	由仁町農業集落排水事業の設置等に関する条例の制定について	農業集落排水事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため、地方公営企業法及び同法施行令の規定に基づき、条例を制定
条例の一部改正	由仁町監査委員設置条例及び由仁町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正
	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員へ勤勉手当を支給するため、条例の一部を改正
	由仁町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正
	由仁町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	子ども・子育て支援の拡充のため、出産予定者に係る国民健康保険税を一定期間免除する関係法令の施行に伴い、条例の一部を改正
一部事務組合の規約変更	道央廃棄物処理組合規約の一部変更について	道央廃棄物処理組合の事務所を移転するため、組合の規約を変更
会議案	議員派遣について	市町村議会議員特別セミナーへの派遣

令和5年度補正予算を可決

令和5年度各会計補正予算は、原案のとおり可決しました。

(単位：千円)

会 計 名		補正前の額	補正額	補正後の額
		主な内容		
一 般 会 計		5,455,996	241,054	5,697,050
		ふるさと寄附金の増加に伴う返礼品及び積立金の増額 物価高騰対応重点支援地方創生臨時事業費の計上		
特 別 会 計	農 業 集 落 排 水 会 計	344,834	△623	344,211
		職員の異動に伴う人件費の減額 集落排水施設の修繕に伴う費用の増額		
	介 護 保 険 会 計	784,587	3,810	788,397
		介護報酬改正に伴うシステム改修費の計上 保険給付費の増額		
	後 期 高 齢 者 医 療 会 計	107,331	△2,983	104,348
		後期高齢者医療広域連合事務費及び保険料等負担金の減額		
	診 療 所 会 計	562,634	△20,078	542,556
		職員の異動に伴う人件費の減額 医療用備品の増額		
	介 護 老 人 保 健 施 設 会 計	125,428	322	125,750
		職員の異動に伴う人件費の減額		
企 業 会 計	水 道 会 計	506,925	4,835	511,760
		職員の異動に伴う人件費の減額 配水管修繕費の計上		



東議員

メンタルヘルスケアについて

ここ数年、厚生労働省が行っている統計調査で、働く人の約6割が仕事で強いストレスや不安を感じていると言われています。

その中でも地方公務員においては全体で87・4%、町村では75・8%の割合でメンタルヘルス不調による休務者が「あり」と回答されています。

今後もメンタルヘルス不調による休務者が増加傾向にあると踏まえて、総務省が令和4年3月29日に地方公共団体に「メンタルヘルス対策の取組の推進等について」、翌年令和5年3月28日には「メンタルヘルス対策に関する計画等の策定の推進に

ついて」と続けて通知を出しています。

また、現在、由仁町においても休務者やメンタルの不調により通院されている職員がいると聞いています。

当町の現状や動向を踏まえ、町としてメンタルヘルス対策にどのように取り組まれているのか、そして今後、どのように対処していくのか、町長の考え方を伺います。

町長答弁

近年、様々な労働環境において民間企業、国の機関や地方公務員を問わず、ストレスを抱え、不調に陥り、休業を余儀なくされる方が増加しているという報道がされているところですが、

指摘のとおり、当町においても例外ではなく、残念ながら長期の休暇、休業及び通院を余儀なくされる職員がいます。町としては、所属課において初期段階のフォローができるよう管理職員を対象に「メンタルヘルスセミナー」への派遣を行うとともに不調があれば課長等に相談する体制を整えています。

また、年に一度、会計年度任用職

員を含めた全職員を対象に、国が推奨する57項目の質問に基づくストレスチェックを実施しています。このストレスチェックにおいては、高ストレスであると評価された職員については、状況の改善を図ることを目的に産業医（町立診療所医師）の面談に繋げています。

しかしながら、ワークライフバランスが盛んに叫ばれている状況です。災害時等の緊急対応を除き、時間外勤務の抑制や休暇の積極的な取得を進めることにより、職員のES（エンプロイーサティスファクション「従業員満足度」）を高めるなど、今後とも、充実した職場環境を目指すための働き方改革を進めていきます。

【再質問】

ただいまの町長の考えをお聞きするまでは、私は大変心配でした。私は当町を見ていて、職員数が関係部署によっては十分足りていないのでは、また、近年の大災害やコロナウイルス感染症対策などで業務の増加により職員がオーバーワークになっているのではないかと感じていました。

やはり職員がいて組織が成り立つわけで、このバランスが崩れる

と行政サービスが滞る可能性があると思われれます。これからもメンタルヘルス対策には注視していただくことを強く望みます。

用語解説

「メンタルヘルスケアとは」

メンタルヘルスとは心の健康、精神的な健康を意味し、職場のメンタルヘルスケアとは、職員が健やかにいきいきと働くために援助、配慮することです。





中村議員

子ども医療費の18歳以下まで無償化拡大について

現在由仁町では、町内に在住する0歳から中学校卒業までのお子さんの医療費を入院、通院区別なく助成しています。これは、北海道が助成対象としている範囲を町独自の考えで拡大し、町の財源をもって支援しています。

そのような中、北海道新聞の記事に「空知管内、子ども医療費広がる無償化 18歳以下対象管内市町の7割」という記事が出ました。記事を読みますと、各市町様々な現状の中、財源確保に努め、子育て家庭への支援に力を入れています。

そして由仁町も、より一層の支援に向けて、子ども医療費の見直しをするべきと私は感じています。何歳になっても病気やけがは予期せぬときに起こります。そんなときこそ行政が下支えするべきではないで

しょうか。今後18歳以下までの医療費無償化拡大についての考えはありますか。

町長答弁

当町における子ども医療費の助成制度は、対象年齢を拡大しながら現在に至っているところであり、町単独分として、助成対象を現在の中学生まで拡大しています。

現在子どもの医療費助成は地方単独事業として全市町村で取り組まれています。国はこの助成制度が医療費の増加を招くとして国民健康保険に対して、国が定める基準よりも超えた医療サービスを実施する市町村については、その国の補助金を減額するという措置が取られています。しかし、子ども政策を拡充するため、こども未来戦略方針にこの減額調整措置の廃止方針が打ち出されました。これに対し、知事会、市長会、町村会においては減額調整措置廃止の早期実現について、精力的に要望活動が展開されているところです。

当町もこれら国の動向を注視しながら他の市町村とも一体となって要望活動を展開していき、当町の財政状況に対する影響も勘案しながら検討を進めたいと考えています。

【再質問】

私たち子育て世代では、どうして由仁町だけ中学生までなのかと疑問視をする町民もいると思います。このように説明をしていただけると、由仁町としても財源の確保という部分もあり、検討しながら進んできたのだと私は理解させていただきました。この財源確保も非常に困難かと思われませんが、やはり子育て世代、そして高校生まで、夢に向かって一生懸命、勉強、スポーツ等に励んでいる子ども達に、より一層の支援を私はしていきたいと思えます。

そして医療費の中でも風邪などの軽い病状ではなく、眼科、皮膚科、歯科、整形等、通院できるような状況にさせてあげたい気持ちなのです。皆さんと共に財源の確保に努め、より子ども達を第一優先に考え、由仁町全体で支援していくべきと考えています。通学費等、色々と物価高で家計費も圧迫しているこのご時世、医療費だけでもぜひ実現に向けてもらいたいと望みます。

町長答弁

一部には行政はお金があると思われている方がいるかもしれませんが

が、行政の財布には限りがあります。平成20年に地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行され、由仁町はあと一歩で倒産の状態になっていました。それから町民の皆さんには大変苦しい思いを強いることになってしまいました。見直しを進めて何とか行政運営を進めてきましたが、まだまだ苦しい状況であります。

子ども達のために何とかしてあげたい。ところが国はこの事業を進めると病院にかかる者が増えるという考え方があり、ペナルティーを科していく。国から由仁町に交付される国民健康保険の交付金の約15%程度は減額になっています。この減額は残念ながら国民健康保険の被保険者の皆さんの保険料に影響してきます。そして、その減らされた分を補うためには、他の事業を諦めなければなりません。

由仁町の財政状況は良くなりませんが、新しいことやるには、何かをやめなければなりません。これが由仁町の財政状況ですので、状況を総合的に勘案しながら、子育て世代、中村議員の思いを実現に向け検討を進めていきたいと思えますので、ご協力よろしく申し上げます。



野市議員

空き家を活用した移住対策の推進について

由仁町がこれから先、豊かで元気のあるまちづくりを進めていくにはどうしても人口の減少に歯止めをかけていく政策が必要であると考えますが、その意味では町が進めている空き家を活用しての移住政策は軌を一にする素晴らしい政策であると思えます。

- この政策がさらに前進することを願います。
- ①現在の空き家件数（特定空き家候補は除く）
 - ②現在の空き家バンクの登録数
 - ③移住に関する問い合わせ件数
 - ④空き家を活用した移住政策で見えてきた課題、またそれを見後どのような方法で克服されていくのか
 - ⑤今年の北海道移住・交流フェア

ア2023（大阪）での成功のポイントなど

町長答弁

（担当課長から①～③回答）

①回答 160件

②回答 6件

③回答 令和4年度実績40件

4点目ですが、当町の空き家空き地バンクは平成22年度から開始しました。これまで約90件の登録があり、平成29年から宅地建物取引士やファイナンシャルプランナーの資格を持つ由仁町移住交流支援センターのスタッフが専門的な知識を生かして対応していることもあり、登録して間もなく契約が成立する状況で、慢性的に登録物件が少ない状況です。

また、全ての不動産所有者に対し空き家バンクの登録を促す取組を行ってきましたが、所有者の諸事情により手放すことに躊躇されている方が多かったです。これを踏まえ、近年では個別相談会や利活用セミナーなど、空き家の所有者側の意識を変える取組もあわせて行っているところです。

さらに移住交流支援センターのスタッフが相談者に対し移住と物件のマッチングをお手伝い

するとともに要望の多かった休日の相談を行うなど一定の評価を頂いているところです。

5点目ですが、当町から1名と支援センタースタッフ2名が参加し、15組21人から多くの質問を受けました。成功か失敗かの判断はできかねますが、不参加であった場合は由仁町に興味があつた方とのきっかけが作れなかつたこと、また、派遣した職員が他市町村の移住施策を学ぶ機会を失つたと考えるとフェアそのものの参加は意義があつたものと考えています。

【再質問】

空き家バンクの登録数を増やすこと、移住希望者の数を増やすこと、そしてその両者がマッチングすることが大事だとわかりました。

空き家を所有している方160名にうまく空き家バンクへの登録をお願いすることは、個人情報のお取り扱いが難しいのではないかと思います。その部分に移住交流センターと地元不動産業者と協力しながら進めていくという考えはあるのでしょうか。

もう一点は移住希望者を増や

すためには、ウェブマーケティングという方法で成果をあげていくことができると思います。全国的にDIYブームですが、例えば「DIYで自分の家を造りました」というような動画を作りPRしてはどうでしょうか。

町長答弁

登録数が少ないのは登録してもすぐ売れることも一つですが、需要と供給のミスマッチがあります。登録したい方のほとんどが売却したいのですが、見ている人の多くが借りたいのです。このミスマッチの解消に向けて地元の関係者とはこれから協議を重ね、お互いに協力していきたいと考えています。

また動画を作成してのPRですが、借地借家法の壁もあるのですが、そういった所も踏まえて、検討しなければならぬと思います。様々なアイデアがあると思いますので、1軒でも移住者の方に買って頂く、あるいは借りて頂いて人口が増えるように進めたいと思いますので、野市議員もお力添えをお願いします。

行政報告（町長）

デマンドバスの運行 状況について

令和4年10月から実証運行している由仁町デマンドバスは、令和5年4月から新たに三川駅前を運行ルートに加え、運行しています。

9月末日までの利用者数は延べ1,278人、実人数で98人、1日平均の利用

者は、10.3人となり、利用者数は増加しています。三川駅前の利用者については、延べ164人、実人数で17人、1日平均の利用者は、1.3人でした

これまで予約システムの導入、バスの位置情報の提供など利用者の利便性の向上を図っており、今後、車両のラッピングを予定しています。

なお、夕鉄バスの路線廃止に伴い、令和5年10月から平日に2便を追加、土日に新たに2便の運行を開始しました。

令和6年10月の本格運行に向け、町民の足を確保すべく、引き続き検討・検証を行ってまいります



主な農作物の生育 状況について

水稻については、農林水産省が12月12日に公表した作況指数は、全国で101、北海道で104、南空知では103の「やや良」、10アール当たりの収量は、南空知で564キログラムとなっていますが、品質については、記録的な高温が続いたことにより、シラタと呼ばれる腹白・乳白粒（白色で不透明な粒）が例年より多く発生しています。

タンパク値についても全道的に高めの傾向となっており、「ゆめぴりか」の基準品出荷率は、道内全体で40%前後、当町においても63%と、例年より低い数値となっています。

畑作物を含め、令和5年は記録的な猛暑が続いたことが影響し、全体を通して平年を下回る作況となりました。

新型コロナウイルス ワクチンの接種状況 について

「令和5年秋開始接種」が9月20日から全国的に開始したところであり、当町においては、ワクチンの供給に応じて、9月22日からは65歳以上の方と5歳から64歳までの基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方などを優先して接種を開始し、11月7日からは12歳以上の方を対象に町内医療機関における個別接種を進めているところです。

今後も、接種を希望する皆さんが確実に接種することができるよう、しっかりと準備を行い、適切に対応していきます。

主な工事の進捗状況について

三川本通り線道路改築工事は10月10日に、由仁町公営住宅北栄団地4号棟建替工事は10月20日に完成しました。なお、北栄団地は11月20日から入居を開始しています。

ヤリキレナイ川改修支障下水道管布設替工事は9月12日に着工し、3月15日に完成予定となっています。

教育行政報告（教育長）

札幌日本大学中学校・高等学校との連携協定について

北広島市にある札幌日本大学中学校・高等学校と人的・知的資源の交流と物的資源を活用した相互の連携協定を10月24日に提携しました。

内容は、1点目は札幌日本大学高等学校への町長による推薦入試の実施、2点目は由仁町でのフィールドワークやボランティアの受け入れ、3点目は地域産業の振興や人材育成、まちづくりに関すること、4点目は教育や研究、生涯学習、文化、スポーツの振興発展に関することです。

町長推薦については、令和6年度入試に当たり2人の推薦を決定したところです。

「ゆに教育の日」の取組について

平成22年度から11月1日を「ゆに教育の日」と定め、様々な取組を実施しています。

町内小中学校、認定こども園、保育園において、一斉公開授業を開催し、延べ184人の方に子どもたちの授業や活動の様子を見ていただきました。

11月27日には小中学校の児童生徒の代表11人を子ども教育委員に任命し、「夢づくり子ども教育委員会」を開催し、「みんなで考えようSDGs～未来のためにできること」をテーマにグループで話し合い、取組案の発表が行われました。

また、ゆめっく館では11月を「ゆに読書月間」と定め、古本市や秋の絵本展を開催しました。

小中一貫教育の取組について

新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒や教職員が集まることが難しく、進めることができない状況でしたが、5月から当該感染症の分類が5類に移行したことから、地域クリーン作戦や一日防災学校など小中学校の合同行事をはじめ、小学校6年生が中学校に出向き、音楽と体育の授業を中学生と一っしょに実施しました。今後は中学校の教員が小学校へ出向き、専門的な授業を行うことを検討しているところです。

第5回臨時会

令和5年11月30日開会

次の事件について慎重に審議し、原案のとおり可決しました。

	付議事件	主な内容
条例の一部改正	由仁町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	期末手当（0.1月分）の支給率引上げ改定
	由仁町長及び副町長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	・町長、副町長、教育長の期末手当（0.1月分）支給率の引上げ改定 ・職員の給料表及び期末手当（0.05月分）・勤勉手当（0.05月分）の支給率の引上げ改定

各会計補正予算は、原案のとおり可決しました。。

(単位：千円)

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額
		主な内容		
一	一般会計	5,443,314	12,682	5,455,996
		給料表及び期末手当・勤勉手当改定に伴う人件費の増額		
特別会計	農業集落排水会計	344,632	202	344,834
		給料表及び期末手当・勤勉手当改定に伴う人件費の増額		
	診療所会計	559,979	2,655	562,634
		給料表及び期末手当・勤勉手当改定に伴う人件費の増額		
特別会計	介護老人保健施設会計	124,899	529	125,428
		給料表及び期末手当・勤勉手当改定に伴う人件費の増額		
企業会計	水道会計	506,682	243	506,925
		給料表及び期末手当・勤勉手当改定に伴う人件費の増額		

議会を傍聴しませんか？

定例会は年4回、臨時会は必要に応じて開かれます。

事前の申し込みは不要です。

直接、議場にお越しください。

次回の定例会は3月に開かれる予定です。



詳しい日程は、ホームページでお知らせします。

議員の出席状況

令和5年5月1日～12月31日

	本会議		総務産業 常任委員会	議会運営委員会	特別委員会			その他 (全員協議会など)	会議数計		出席率(%)
	定例会	臨時会			予算審査	決算審査	議会広報		出席	欠席	
会議日数	5	3	5	4	1	2	6				
浮田孝雄	5	3	5	—	0	2	—	4	19	3	86.4
加藤重夫	5	3	5	4	1	2	—	11	31	0	100.0
東 貴之	5	3	5	4	1	2	6	6	32	0	100.0
大畠敏弘	5	3	5	4	1	—	6	6	30	0	100.0
野市裕司	5	3	5	—	1	2	6	6	28	0	100.0
佐藤英司	5	3	5	4	1	2	6	8	34	0	100.0
中村隆浩	5	3	5	—	1	2	6	6	28	0	100.0
早坂寿博	5	3	5	4	1	2	—	11	31	0	100.0
後藤篤人	4	2	—	—	—	—	—	8	14	5	73.7

※欠席数には公務によるものを含みます。
また、一部事務組合の出欠は含まれていません。

一般質問の状況

令和5年5月1日～12月31日

	議員名	質問内容
第2回定例会	加藤 重夫	夜間の防災訓練と避難について
第3回定例会	佐藤 英司	猛暑への対応策について
	東 貴之	新たな体育施設の考え方について
		ラピダスの千歳進出について
	中村 隆浩	G I G Aスクール構想とICT教育に関わるタブレット端末の活用について
第4回定例会	東 貴之	メンタルヘルスケアについて
	中村 隆浩	子ども医療費の18歳以下まで無償化拡大について
	野市 裕司	空き家を活用した移住対策の推進について

町内所管事務調査

◆期日 10月3日(火)
◆調査内容

①学校におけるICTの活用状況について

由仁小学校及び由仁中学校において、タブレット端末や今年度導入した大型テレビなどにより、積極的にICT教育に取り組み、学習効率の向上に効果があると説明を受けた後、実際に授業を視察し、タブレット端末、大型テレビなどの活用状況を確認しました。

これからの教育におけるICTの活用は、極めて重要なものであると考えるところであり、今後効果的な取組を進め、教育の質の向上が図られることを期待します。



由仁小学校の授業視察



由仁中学校の授業視察

②学校給食の状況について

給食費や材料費、物価高騰の状況及び対応、また、残食の状況について説明を受けました。

その後、物価高騰への対応となるコスト削減の具体的な内容や、残食の実態等について質疑を行い、学校給食の状況について確認しました。

学校給食は、健康の保持増進を図り、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために大切な役割を果たすものと認識しており、安心・安全な学校給食が安定的に子どもたちに提供されるよう努めていただくことを望みます。

道内行政視察 (更別村・大樹町)

◆期日 10月17日(火)・18日(水)

◆視察内容

①更別村における議会の活性化について

更別村は、今年度の議会議員選挙の結果、議員8人中、女性議員が2人となり女性の政治参画が進んでいます。

また、議会報告会の開催や本会議のインターネット中継を行っており、視聴回数、チャンネル登録者数ともに増加傾向で推移しています。

当町より人口規模は小さい村ではありますが、少しずつでも着実に議会活性化の取組を進めていることがうかがえました。

また、今回特に女性議員から直接、議員になるまで経緯、思いなどの話を聞くことができ、課題も見えました。議長は「女性の感性による議員活動に期待している」と話をしていました。当町においても、視察で学んだことを生かし、議会活性化の取組を進めていきたいと考えています。

②大樹町におけるまちづくりについて

大樹町は「宇宙のまちづくり」を進めており、JAXAの実験、民間企業によるロケット発射実験等が年間を通じて行われ、近年は注目度が急上昇し、全国的な知名度も高い町です。

地理的な優位性など様々な要因があった上で発展しており、当町を含め他の市町村が同様の取組を行うことは極めて困難だと考えますが、将来的なニーズや産業規模の拡大などを見据えて、計画を立て取組を進めることや、効果的なPRをすることや、効果的なPRをすることや、効果的なPRを増加させ、財源に充てることなど、当町の事業において参考になることを学ぶことができたと感じました。



大樹町の射場施設説明

議会のうごき

10月

- 19日 JFEの森植林活動
(JFEの森 議長)
- 24日 陸上自衛隊第7師団戦車射撃競技会
(恵庭市 議長)
- 24日 札幌日本大学中学校・高等学校と由仁町との連携協力に関する協定締結式
(大会議室 議長、副議長)
- 25日 空知町村議会議長会第2回定期総会
(札幌市 議長)
- 30日 南空知公衆衛生組合議会議員施設調査
(長沼町 組合議員)
- 31日 南空知消防組合議会第4回定例会
(栗山町 組合議員)

11月

- 1日～2日 市町村職員中央研修所主催市町村議会議員特別セミナー (千葉県 議員)
- 8日 由仁町教育委員会表彰式
(げんき館 議員)
- 10日 由仁町町政功労者表彰式
(げんき館 議員)
- 22日 南空知葬斎組合議会第2回定例会
(議場 組合議員)
- 23日 由仁神社新嘗祭 (由仁神社 副議長)
- 24日 南空知公衆衛生組合議会第2回定例会
(長沼町 組合議員)

- 26日～28日 南空知町村議会議長連絡協議会道外行政視察 (岡山県・徳島県 副議長)
- 29日 第67回町村議会議長全国大会
(東京都 副議長)
- 30日 由仁町議会第5回臨時会 (議場 議員)
- 30日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 30日 空知教育センター組合議会第2回定例会
(滝川市 組合議員)

12月

- 2日 道央廃棄物処理組合焼却施設建設工事火入れ式
(千歳市 副議長)
- 11日 三役会議 (正副議長室 議会三役)
- 11日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 11日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 13日 由仁町議会第4回定例会 (議場 議員)
- 13日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)

1月

- 3日 二十歳のつどい (ふれーる 議員)
- 7日 由仁消防団出初式 (ふれーる 議員)
- 9日 新年交礼会 (ふれーる 議員)
- 9日～10日 市町村職員中央研修所主催市町村議会議員特別セミナー (千葉県 議員)
- 12日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)
- 19日 由仁町議会第1回臨時会 (議場 議員)

編集後記

12月の第4回定例会では傍聴席が満員御礼となり、由仁町議会が始まって以来の快挙でありました。これは町民の皆様への関心が進んできた証ではないでしょうか。これからもますます町民の皆様が身近で接しやすい議会を目指します。

新年を迎えた1月1日、石川県能登半島で震度7の大地震が起こりました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

1月7日、由仁町では由仁消防団出初式が執り行われ、凍てつく寒さのなか消防団員の勇ましい行進が行われ、由仁第一分団、三川第二分団ともに2023年無火災という快挙で表彰されました。あらためて生命、財産、暮らしが守られていること、ありがとうございました。これからも町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指して議会も全力を尽くしてまいります。なにとぞよろしく願います。

委員 野市裕司

議会へ町民の皆様の声を届けてください

「住みよいまちづくりのため」に、ご意見、ご要望をお待ちしています。

連絡先

TEL 0123-83-2111 FAX 0123-83-3020
e-mail gikaijimu@town.yuni.lg.jp

※匿名分は除かせていただきます